

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 12 日作成)

委員会名	鋼構造耐火設計小委員会	主 査 名：今野和近
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：小野徹郎
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	耐火分野における最新の研究成果を反映し、本会「鋼構造耐火設計指針」を改定することを最終目標とする。 2003 年度は文献調査・資料収集を主な活動内容とする。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：今野和近 (JFE 技研) 幹事：原田和典 (京大) 委員：平島岳夫 (千葉大)・安部武雄 (東工大)・上杉英樹 (千葉大)・大宮喜文 (理科大)・岡部猛 (熊本大)・河野守 (建研)・鈴木弘之 (筑波大)	
設置 WG (WG 名：目的)	火災性状・部材温度WG ：耐火分野のうち、燃焼・伝熱に関わる分野の検討。 高温構造耐力WG ：耐火分野のうち、構造に関わる分野の検討。	
2003 年度予算	350,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 5 月 14 日(水)・8 名, 7 月 16 日(水)・7 名, 9 月 3 日(水)・10 名, 12 月 3 日(水)・10 名 2004 年 2 月 5 日(木)・11 名, 3 月 30 日(火)・9 名 開催回数 計 6 回
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1) 火災性状予測計算, 局所火災時の鋼材への伝熱, 素材の高温特性データ等に関する文献調査と資料収集を行った。 2) 指針改定に反映すべき技術的内容について, 既往の研究内容を審議した。 ・可燃物量の評価手法 ・局所火災の性状と部材温度への影響 ・鋼材及び高力ボルトの高温特性データ ・鋼架構, 部材の高温時の不安定挙動 3) 現行指針の課題を抽出し, 改定の基本方針をまとめた。 委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の活動計画(文献調査・資料収集)はほぼ達成した。 1) 新規に追加すべきデータ(可燃物諸元, 鋼素材諸元)については, 公開済みデータのリストアップと一次整理を完了。 2) 最新の技術動向については, 文献収集とともに, 内容の検討を実施。
その他評価すべき事項	防火委員会シンポジウム「コンクリート系構造物の火災耐力」において, 鋼架構の高温時の不安定挙動に関する研究成果を報告した(04 年 1 月 30 日, 鈴木委員)